コンクリート圧縮強度試験成績書

2019年 8月 1日

田川セメント工業所　殿

福岡県みやま市瀬高町河内1938-1
株式会社江崎千秋商店
瀬高生コン工場

工事名称	自社二次製品
打込箇所	

呼び方	コンクリートの種類による記号	呼び強度	ｽﾗﾝﾌﾟ又はｽﾗﾝﾌﾟﾌﾛｰ cm	粗骨材の最大寸法 mm	ｾﾒﾝﾄの種類による記号
	普通	24	18	20	N

指定事項	

採取月日	試験月日	材齢(日)	番号	ｽﾗﾝﾌﾟ(cm)	空気量(%)	温度(℃)	最大荷重(kN)	強度(N/mm²)	平均強度(N/mm²)	摘要
7/ 4	8/ 1	28	1	18.5		29	243	30.9	31.3	標準養生
			2				248	31.6		
			3				246	31.3		

備　考　　供試体寸法　φ100×200

No.

レディーミクストコンクリート配合計画書

2019年 4月 1日

田川セメント工業所 殿

製造会社名：株式会社 江崎千秋商店
瀬高生コン工場
配合計画者名　手塚　正文

工事名称	自社二次製品
所在地	久留米市荒木町今
納入予定時期	
本配合の適用期間 a)	(標準配合)
コンクリートの打込み箇所	

配合の設計条件

呼び方	コンクリートの種類による記号	呼び強度	スランプ又はスランプフロー cm	粗骨材の最大寸法 mm	セメントの種類による記号
	普通	24	18	20	N

指定事項(必須)	セメントの種類	呼び方欄に記載	粗骨材の最大寸法	呼び方欄に記載
	骨材の種類	使用材料欄に記載	アルカリシリカ反応抑制対策の方法 b)	A —
指定事項(任意)	骨材のアルカリシリカ反応性による区分	使用材料欄に記載	軽量コンクリートの単位容積質量	— kg/m³
	水の区分	使用材料欄に記載	コンクリートの温度	— ℃
	混和材料の種類及び使用量	使用材料及び配合表欄に記載	水セメント比の目標値の上限	— %
	塩化物含有量	0.30 kg/m³ 以下	単位水量の目標値の上限	— kg/m³
	呼び強度を保証する材齢	— 日	単位セメント量の目標値の下限又は目標値の上限	— kg/m³
	空気量	— %	流動化後のスランプ増大量	— cm

使用材料 c)

セメント	生産者名	太平洋セメント株式会社	密度 g/cm³	3.16	Na_2O eq % d)	0.62

混和材①	製品名	—	種類	—	密度 g/cm³	—	Na_2O eq % e)	—
混和材②		—		—		—		—

骨材	No.	種類	産地又は品名	アルカリシリカ反応性による区分 f) 区分	試験方法	粒の大きさの範囲 g)	粗粒率又は実積率 h)	密度 g/cm³ 絶乾	表乾	微粒分量の範囲% i)
細骨材	①	砕砂	熊本県和水町産	A	化学法	5以下	2.85	2.93	2.96	4.0±1.0
	②	山砂	熊本県南関町産	A	化学法	—	2.70	2.52	2.56	3.0以下
	③	—	—	—	—	—	—	—	—	—
粗骨材	①	砕石1505	熊本県和水町産	A	化学法	15～5	—	3.01	3.02	0.5±0.5
	②	砕石2010	熊本県和水町産	A	化学法	20～10	60.0	3.02	3.03	0.5±0.5
	③	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	④	—	—	—	—	—	—	—	—	—

混和剤①	製品名	ﾁｭｰﾎﾟｰﾙEX-50	種類	AE減水剤(標準形Ⅰ種)	Na_2O eq % j)	0.8
混和剤②		—		—		—
混和剤③		—		—		—

細骨材の塩化物量 k)	②0.001%	水の区分 l)	回収水(上澄水)・地下水	目標スラッジ固形分率 m)	— %	
回収骨材の使用方法 n)	細骨材	—	粗骨材	—	安定化スラッジ水の使用の	有・(無)

配合表 o) kg/m³

セメント	混和材①	混和材②	水	細骨材①	細骨材②	細骨材③	粗骨材①	粗骨材②	粗骨材③	粗骨材④	混和剤 p) ①	混和剤 p) ②	混和剤 p) ③
342	—	—	181	362	543	—	502	501	—	—	3.42	—	—

水セメント比 q)	53 %	水結合材比 q)	— %	細骨材率	50.2 %

備考 骨材の質量配合割合r)，混和剤の使用量については，断りなしに変更する場合がある。	骨材混合比(質量混合)	細骨材①:②	40.0:60.0
		粗骨材①:②	50.0:50.0

配合計算書

配合の設計条件					
呼び方	コンクリートの種類による記号	呼び強度	スランプ又はスランプフロー cm	粗骨材の最大寸法 mm	セメントの種類による記号
	普通	24	18	20	N
指定事項					

(1)標準偏差(σ)　当工場の実績により　σ = 2.94 N/mm²

(2)配合強度(m)

$m = 0.85 \cdot S_L + 3 \cdot \sigma = 29.2$ N/mm²

$m = S_L + 1.73 \cdot \sigma = 29.1$ N/mm²

よって　m = 29.2 N/mm²

(3)水セメント比(W/C)　$m = -23 + 28.1 \times C/W$

$W/C = 28.1 \div (29.2 + 23) \times 100 = 53$ %

W/C = 53 %

(4)単位水量(W)　当工場の実績により　W = 181 kg/m³

(5)単位セメント量(C)　C = W ÷ (W/C) × 100 = 181 ÷ 53 × 100 = 342 kg/m³

Cv = C ÷ 密度 = 342 ÷ 3.16 = 108 ℓ/m³

(6)空気量(A)　A = 4.5 % × 1000 = 45 ℓ/m³

(7)単位粗骨材量(G)　当工場の実績により　かさ容積 = 0.554 m³/m³　実積率 = 60.0 %

Gv = 0.554 × 1000 × 60.0 ÷ 100 = 332 ℓ/m³

G = Gv × 表乾密度 = 332 × 3.02 = 1003 kg/m³

G1 = G × 50.0 % = 502 kg/m³

G2 = G × 50.0 % = 501 kg/m³

(8)単位細骨材量(S)　Sv = 1000 − (W+Cv+Gv+A) = 1000 − 666 = 334 ℓ/m³

S = Sv × 表乾密度 = 334 × 2.71 = 905 kg/m³

S1 = S × 40.0 % = 362 kg/m³

S2 = S × 60.0 % = 543 kg/m³

(9)細骨材率(s/a)　s/a = Sv ÷ (Gv+Sv) × 100 = 50.2 %

(10)単位混和剤量(Ad)　Ad = C × 添加率 × 密度 = 342 × 1.000 % × 1.00 = 3.42 kg/m³

配合表 kg/m³

セメント	混和材		水	細骨材			粗骨材				混和剤		
	①	②		①	②	③	①	②	③	④	①	②	③
342	—	—	181	362	543	—	502	501	—	—	3.42	—	—

水セメント比	53 %	細骨材率	50.2 %	骨材混合比(質量混合)	細骨材①:② 40.0:60.0 粗骨材①:② 50.0:50.0

備考

■骨材試験成績書■

平成３１年　３月度

福岡県みやま市瀬高町河内1938-1
株式会社江崎千秋商店
瀬高生コン工場

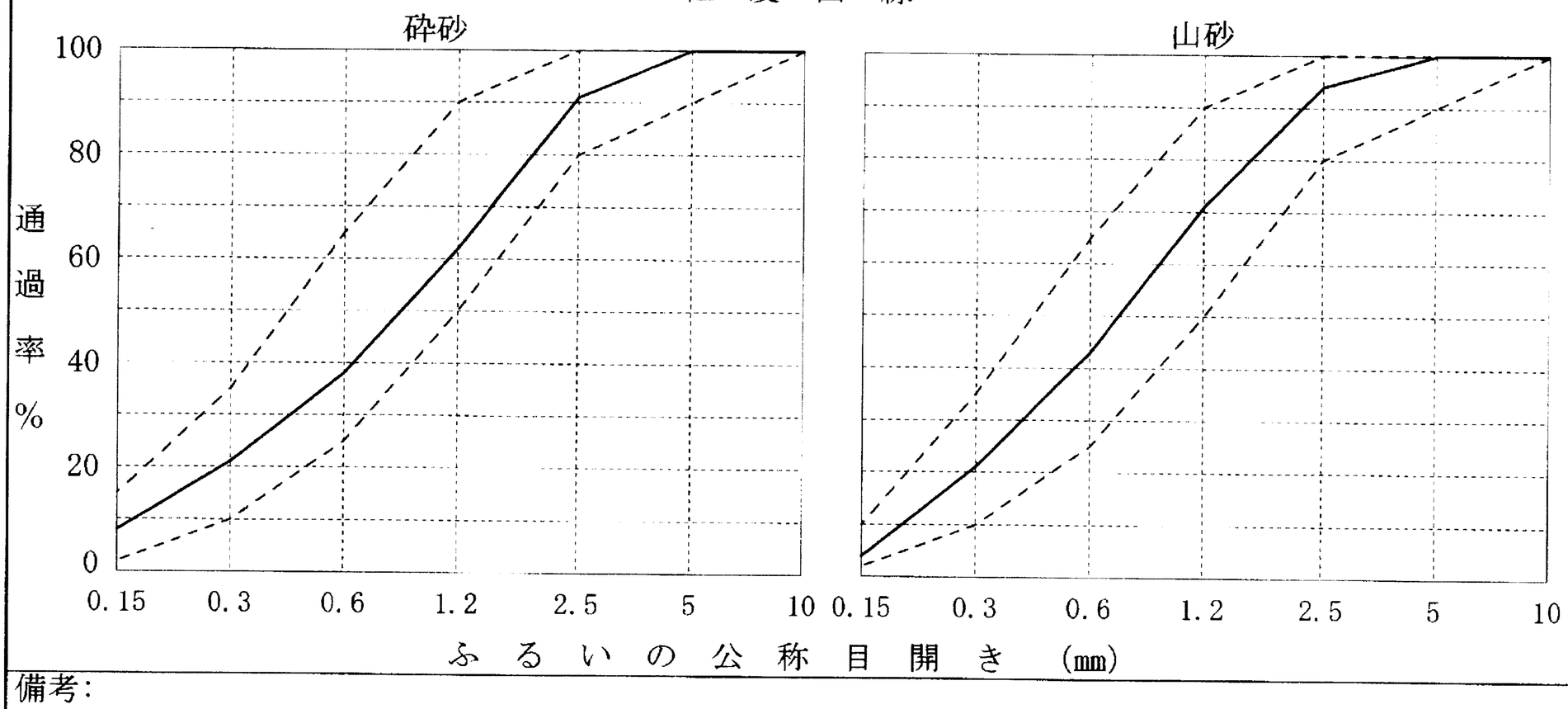
	産地品名	骨材名称	検印欄 承認	検印欄 担当者
骨材①	熊本県和水町産	砕砂	手塚	池田
骨材②	熊本県南関町産	山砂		
骨材③				
骨材④				

試験項目	骨材①	骨材②	骨材③	骨材④
最大寸法(mm)	5以下	－		
表乾密度 (g/cm³)	2.96	2.56		
絶乾密度 (g/cm³)	2.93	2.51		
吸水率 (%)	1.26	2.00		
微粒分量 (%)	3.7	1.7		
粘土塊量 (%)	－	0.27		
粒形判定実積率 (%)	54.8	－		
有機不純物（標準色よりも）	－	淡い		
塩化物量 (%)	－	0.001		
安定性 (%)	2.5	2.0		
密度1.95に浮く粒子 (%)	－	－		
すりへり減量 (%)	－	－		
軟らかい石片 (%)	－	－		

ふるい分け試験（通過率%）

ふるい(mm)	砕砂	山砂
150		
100		
80		
60		
50		
40		
30		
25		
20		
15		
10	100	100
5	100	100
2.5	91	94
1.2	62	71
0.6	38	43
0.3	21	21
0.15	8	4
粗粒率	2.80	2.67

粒度曲線



備考:
有機不純物、塩化物量、安定性試験は、1回以上／1年の結果である。

セメント試験成績表

太平洋セメント株式会社

平成31年3月度

品質 ＼ 種類		普通ポルトランドセメント JIS R 5210				早強ポルトランドセメント JIS R 5210				高炉セメントB種 JIS R 5211			
		JIS 規格値	試験成績 平均値	試験成績 標準偏差	試験成績 最大値(最小値)	JIS 規格値	試験成績 平均値	試験成績 標準偏差	試験成績 最大値(最小値)	JIS 規格値	試験成績 平均値	試験成績 標準偏差	試験成績 最大値(最小値)
密度	g/cm³	–	3.16	–	–	–	3.14	–	–	–	3.04	–	–
比表面積	cm²/g	2500以上	3400	81	–	3300以上	4460	93	–	3000以上	3900	80	–
凝結	水量 %	–	27.8	–	–	–	29.8	–	–	–	28.5	–	–
	始発 h-min	60min以上	2-21	–	(1-40)	45min以上	2-03	–	(1-10)	60min以上	3-10	–	(2-20)
	終結 h-min	10h以下	3-34	–	4-00	10h以下	2-54	–	3-00	10h以下	4-49	–	5-20
安定性	パット法	良	良	–	–	良	良	–	–	良	良	–	–
圧縮強さ N/mm²	1d	–	–	–	–	10.0以上	26.3	1.63	–	–	–	–	–
	3d	12.5以上	32.1	1.66	–	20.0以上	47.8	1.71	–	10.0以上	23.8	1.28	–
	7d	22.5以上	47.9	1.77	–	32.5以上	58.2	1.89	–	17.5以上	39.9	1.72	–
	28d	42.5以上	61.4	1.87	–	47.5以上	70.2	1.92	–	42.5以上	61.9	1.98	–
水和熱 J/g	7d	–	334	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	28d	–	380	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
化学成分 %	酸化マグネシウム	5.0以下	1.25	–	1.80	5.0以下	1.15	–	1.49	6.0以下	3.90	–	4.06
	三酸化硫黄	3.5以下	2.06	–	2.43	3.5以下	2.92	–	3.29	4.0以下	2.14	–	2.35
	強熱減量	5.0以下	2.26	–	2.64	5.0以下	1.36	–	1.43	5.0以下	2.02	–	2.46
	全アルカリ	0.75以下	0.51	–	0.61	0.75以下	0.47	–	0.50	–	–	–	–
	塩化物イオン	0.035以下	0.018	–	0.024	0.02以下	0.005	–	0.010	–	0.015	–	–

備考

試験方法はJIS R 5201、JIS R 5202、JIS R 5203及びJIS R 5204による。
28d圧縮強さ及び28d水和熱は前月度の値を示す。

全アルカリの最大値のうち直近6ヶ月の最大の値
- 普通ポルトランドセメント　0.62 %
- 早強ポルトランドセメント　0.61 %

高炉セメントB種
- ベースセメントの全アルカリ　0.51 %
- 高炉スラグの分量　40～45 %

お問い合わせその他のご連絡先

太平洋セメント株式会社 九州支店 技術部

〒812-0018 福岡市博多区住吉1－2－25
キャナルシティビジネスセンタービル
☎ 092-263-8460

練混ぜに用いる水質試験報告書

試験番号　NSW185056
2018年06月08日

長崎県生コンクリート工業組合
島原南高技術センター
（全生工組連第43号認定共同試験場）
長崎県南島原市深江町戊638番地4
承認署名者　所長　藤田　信芳

1.顧客の名称　株式会社 江崎千秋商店
瀬高生コン工場　殿

及び住所　福岡県みやま市瀬高町河内1938-1

2.試験方法　JIS A 5308：2014 附属書Cによる
全国生コンクリート工業組合連合会の認定試験項目

3.試料の受領日　2018年05月08日　（依頼者持込）

試験年月日			2018年05月10日 ～ 2018年06月07日	
試料	試験水の種類 (*)		地下水	
	採取年月日 (*)		2018年05月07日	
	採取場所 (*)		福岡県みやま市瀬高町河内1938-1	
懸濁物質の量 (g／L)			0.0	JIS規格値　2 g/L 以下
溶解性蒸発残留物の量 (g／L)			0.0	JIS規格値　1g/L以下
塩化物イオン(Cl⁻)量 (mg／L)			66.7	JIS規格値　200mg/L以下
凝結時間の差	種類		基準水	地下水
	始発時間		2 時間 35 分	2 時間 35 分
	始発時間の差		0 分	
	終結時間		3 時間 35 分	3 時間 35 分
	終結時間の差		0 分	
	規格値		始発は３０分以内、終結は６０分以内	
圧縮強さの比 (A法)	7日	圧縮強さ	44.8 N/mm²	44.1 N/mm²
		圧縮強さの比	98 %	
	28日	圧縮強さ	61.8 N/mm²	60.5 N/mm²
		圧縮強さの比	98 %	
	規格値		材齢７日及び材齢２８日で ９０ %以上	
備考				

a. 本報告書は、記載の試料についてのみに関する試験結果です。
b. 事前の承認なしに、この報告書のカラーコピー又は一部のみを複製して使用する事を禁じます。
c. (*)は、顧客の提出資料によるものです。

承認	担当
手塚	池田

合格

070247JP

発行年月日	平成30年10月1日
受付年月日	平成30年8月29日
受付番号	B1808051

骨材のアルカリシリカ反応性試験結果報告書

(ISO/IEC17025 登録試験所)
株式会社麻生
建設コンサルティング事業部
部長 岩 慎二郎

三加和鉱山株式会社 三加和工場 御中

試験結果を以下に報告します。

試験の名称		骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法)
件名		品質管理試験
依頼者	会社名	三加和鉱山株式会社 三加和工場
	所在地	熊本県玉名郡和水町上十町字山下1202番地の1
試料	種類	砕石・砕砂(はんれい岩) 砕石2005(代表試料)
	産地	熊本県玉名郡和水町上十町字山下1202番地の1
	採取場所	熊本県玉名郡和水町上十町字山下1202番地の1
	採取者	斉藤 勝彦
	採取日	平成30年8月29日
試験実施期間		平成30年9月4日 ～ 平成30年9月6日
試験方法		JIS A 1145「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)」に準じて試験を行った。 なお, 溶解シリカ量は質量法により測定した。

試験結果

試験項目 (mmol/L)	測定結果 1	2	3	平均	判定基準 ※単位:mmol/L	判定
アルカリ濃度減少量 (Rc)	25	25	25	25	a) Scが10以上で, Rcが700未満の範囲では, ScがRc未満となる場合は "無害"。ScがRc以上となる場合は"無害でない"。 b) Scが10未満で, Rcが700未満の場合は "無害"。 c)Rcが700以上の場合は判定しない。	a) 無害
溶解シリカ量 (Sc)	11	11	11	11		

試験場所	株式会社麻生 建設コンサルティング事業部 試験所グループ 福岡県糟屋郡粕屋町大字仲原2648番地 TEL(092)624-1305 FAX(092)624-1308
試験担当者	技術管理責任者 吉瀬 寛 試験担当者 原 匡孝

承認	担当
手塚	池田

合格

注記) 本試験結果報告書の取り扱いについて
1 本報告書を第三者に開示する場合は, 必ず全文を複製するものとし, 一部の複製は行わないで下さい。
2 本報告書の試験結果の一部を当試験所の名称を添付してカタログ等に記載する場合は, 事前に文書により当試験所の承認を得るようにして下さい。

第２０１８Ｇ１６号

品質管理監査合格証

株式会社江崎千秋商店
瀬高生コン工場　殿

貴工場は福岡県生コンクリート品質管理監査会議が２０１８年度に実施した立入監査の結果全国統一品質管理監査基準に適合しているものと判定しここに合格証を交付する

記

有効期間　　自２０１９年４月　１日
至２０２０年３月３１日

２０１８年１２月３日

福岡県生コンクリート品質管理監査会議
議　長　　小山智善